

平成24年行政事業レビューシート (内閣府本府)

| | | | | | | | |
|---------------------------------------|--|-----------------|---|---------------------------------|------------------|-----------------------|-------------|
| 事業名 | 民間資金等活用事業による東日本大震災からの復興の促進に必要な経費 | | 担当部局 | 復興庁 政策統括官(経済社会システム) | | 作成責任者 | |
| 事業開始・終了(予定)年度 | 平成23年度 | | 担当課室 | 統括官付参事官(予算会計担当) 民間資金等活用事業推進室 | | 参事官 尾関 良夫 室長 上田 洋平 | |
| 会計区分 | 一般会計(3次補正)、 東日本大震災復興特別会計 | | 施策名 | 10 民間資金等活用事業の推進 (PFI基本方針含む) | | | |
| 根拠法令 (具体的な条項も記載) | 民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律附則第2条 | | 関係する計画、 通知等 | | | | |
| 事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内) | PFI(Private Finance Initiative:公共施設等の建設、維持管理、運営等を民間の資金、経営能力及び技術的能力を活用して行う手法)は効率的・効果的な公共サービスの提供を通じた財政負担の縮減、民間の事業機会創出による経済活性化に貢献しているところであり、公益性・緊要性が高いものである。今後も公共調達の一手法として積極的に活用されるよう、PFIの推進を図る。 | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内。別添可) | 未曾有の大震災である東日本大震災からの復興には官民を挙げた取り組みが必要であり、「東日本大震災からの復興の基本方針」においてもPFIの積極的な活用が記載されている。一方、被災地地方公共団体では、多様な被災対応のため人員が不足していることから、国が被災地地方公共団体を支援することが必要である。このような状況を踏まえ、被災地におけるPFI手法を活用した震災復興を支援するため、被災地地方公共団体等へPFI専門家(法人を含む)を派遣しPFI事業の立ち上げを支援する。また、改正PFI法の成立を受け、被災地において公共施設等運営権や民間事業者からの提案制度などの新制度の利用促進を図るため、制度活用のための論点整理を行い被災地における実務の手引きを作成する。 | | | | | | |
| 実施方法 | <input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他 | | | | | | |
| 予算額・ 執行額 (単位:百万円) | 予算 の 状 況 | 当初予算 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度 | 25年度要求 |
| | | 補正予算 | — | — | 76 | | |
| | | 繰越し等 | — | — | 0 | | |
| | | 計 | — | — | 76 | 583 | |
| | 執行額 | — | — | 67 | | | |
| | 執行率(%) | — | — | 88% | | | |
| 成果目標及び 成果実績 (アウトカム) | 成果指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 目標値 (年度) |
| | 調査等に係る経費であるため、定量的な成果目標を示すことは困難である。 | 成果実績 | | | | | |
| 活動指標及び 活動実績 (アウトプット) | 活動指標 | | 単位 | 21年度 | 22年度 | 23年度 | 24年度活動見込 |
| | 【調査の実施件数】 ①平成23年度被災地におけるPFIの活用に関する基礎調査(専門家派遣) ②震災復興事業への民間資金の参画意向把握等調査 | 活動実績 (当初見込み) | 件 | — | — | 2 | |
| | | 回 | — | — | 270 (専門家派遣回数) | | |
| | | 件 | — | (—) | (2) | (5) | |
| | 回 | — | (—) | (309) (専門家派遣回数) | | | |
| 単当たり コスト | 調査の実施 33,490,290(円/件) ※平成23年度被災地におけるPFIの活用に関する基礎調査(専門家派遣)(88,632円/回) 費、報告書作成費用等を含む。派遣は2名で実施) | 算出根拠 | 調査に必要な経費(66,980,580円)/調査の実施件数(2件) ※平成23年度被災地におけるPFIの活用に関する基礎調査(専門家派遣) (23,930,580円)/調査の実施回数(270回) | | | | |
| 平成 24 ・ 25 年度 予算 内訳 | 費目 | 24年度当初予算 | 25年度要求 | 主な増減理由 | | | |
| | 民間資金等活用事業調査費 | 583 | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | | | | | | | |
| | 計 | 583 | | | | | |

| 事業所管部局による点検 | | | |
|--|---|--|---|
| | 評価 | 項目 | 評価に関する説明 |
| 目的・予算の状況 | ○ | 広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。 | 被災地方公共団体では、多様な被災対応のため人員が不足していることから、国が被災地方公共団体を支援することが必要である。このような状況を踏まえ、被災地におけるPFI手法を活用した震災復興を支援するものであり、被災地方公共団体のニーズにも合致した優先度が高い事業である。 |
| | ○ | 国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業となっていないか。 | |
| | — | 不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。 | |
| 資金の流れ、費目・用途 | ○ | 支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。 | 本事業は総合評価落札方式及び一般競争入札により適正に支出先が選定され、かつ、競争性も確保している。 |
| | ○ | 単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。 | |
| | — | 受益者との負担関係は妥当であるか。 | |
| | — | 資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。 | |
| | ○ | 費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。 | |
| 活動実績、成果実績 | ○ | 他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。 | 当該各調査については、いずれもPFIを活用した震災地域の復興の促進を図るための調査であり実効性の高い調査である。また、当該調査結果を受けて、PFIを活用した復興が具体化できるように引き続き事業の推進を図る。 |
| | — | 適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。 | |
| | ○ | 活動実績は見込みに見合ったものであるか。 | |
| | ○ | 類似の事業があるか。その場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。 | |
| | | ※類似事業名とその所管部局・府省名 | |
| ○ | 整備された施設や成果物は十分に活用されているか。 | | |
| 点検結果 | <p>・委託調査の実施に当たっては、総合評価方式にて実施する等、経費の削減に努めた。また、被災地にPFI専門家を派遣し、ヒアリングを実施することによって、被災地域の現状やPFI手法を活用した復興の可能性等について有益なデータが得られ、PFIを活用した被災地域の復興の具体化に資するものであった。</p> | | |
| 予算監視・効率化チームの所見 | | | |
| <p>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</p> | | | |
| 補記（過去に事業仕分け・提言型政策仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載） | | | |
| 関連する過去のレビューシートの事業番号 | | | |
| 平成22年行政事業レビュー | | 平成23年行政事業レビュー | |

※平成23年度実績を記入

内閣府
66.981百万円

〔調査監督〕

【総合評価入札・請負】

A. 日本経済研究所
23.931百万

〔平成23年度被災地における
PFIの活用に関する基礎調査〕

【総合評価入札・請負】

B. 野村総合研究所
43.050百万

〔震災復興事業への民間資金
の参画意向把握等調査〕

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

| A.日本経済研究所 | | | E. | | |
|-----------|-----------------------------|--------------|----|-----|--------------|
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 調査費 | 平成23年度被災地におけるPFIの活用に関する基礎調査 | 24 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 24 | 計 | | 0 |
| B.野村総合研究所 | | | F. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| 調査費 | 震災復興事業への民間資金の参画意向把握等調査 | 43 | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 43 | 計 | | 0 |
| C. | | | G. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |
| D. | | | H. | | |
| 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) | 費目 | 使 途 | 金 額 (百万円) |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 計 | | 0 | 計 | | 0 |

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の双方
 で実情が分かるように記載)

支出先上位10者リスト

A. 平成23年度被災地におけるPFIの活用に関する基礎調査

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|---------|--|--------------|------|------|
| 1 | 日本経済研究所 | 岩手・宮城・福島県内の県及び全市町村に訪問し、復興計画やPFIを活用するための課題等をヒアリング | 24 | 1 | 98.0 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |

B. 震災復興事業への民間資金の参画意向把握等調査

| | 支出先 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 入札者数 | 落札率 |
|----|---------|---|--------------|------|------|
| 1 | 野村総合研究所 | 機関投資家・事業会社の参加意向、PFIにおけるリスク移転・事業化促進およびモデルの構築に関する調査 | 43 | 1 | 93.3 |
| 2 | | | | | |
| 3 | | | | | |
| 4 | | | | | |
| 5 | | | | | |
| 6 | | | | | |
| 7 | | | | | |
| 8 | | | | | |
| 9 | | | | | |
| 10 | | | | | |

民間資金等活用事業による東日本大震災からの復興の促進に必要な費用（内閣府PFI推進室）

24年度予算 5.8億円【復旧・復興】

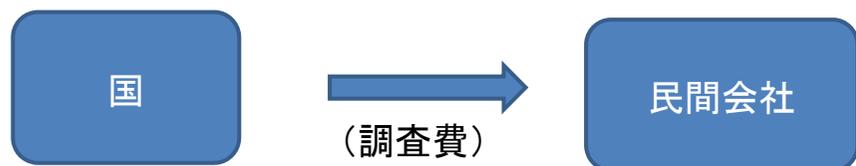
事業概要・目的

- 未曾有の大震災である東日本大震災からの復興には、官民挙げた取り組みが必要であり、「東日本大震災からの復興の基本方針」においても、PFIの積極的な活用が記載されています。
- 一方、被災地方公共団体では、多様な被災対応のため人員が不足していることから、国が被災地方公共団体を支援することが必要です。
- こうした状況を踏まえ、被災地におけるPFI手法を活用した震災復興を支援するため、被災地方公共団体等へPFI専門家の派遣等を行います。
- また、改正PFI法（平成23年11月30日施行）の成立を受け、被災地において公共施設等運営権や民間事業者からの提案制度などの新制度の利用促進を図るため、被災地における実務の手引きを作成します。

事業イメージ・具体例

- 被災地におけるPFIの活用促進を図るため、被災地方公共団体等にPFI専門家（法人を含む）を派遣し、現地においてアドバイスを行い、PFI事業の立ち上げを支援します。
- 被災地において活用することが見込まれる民間事業者のPFIに係る構想について、地方公共団体とともに検討を進めます。また、他の被災地において活用しやすい事業スキームのモデル化を行いPFIの事業化を促進します。
- 被災地において公共施設等運営権、民間事業者からの提案制度等の新制度等の利用促進を図るため、事業に即した実務上のニーズを踏まえ、需要予測の考え方、復興事業の計画との調整など制度活用のための論点整理を行い、被災地における実務の手引きを作成します。

資金の流れ



期待される効果

- PFI事業の実施により民間の資金やノウハウを活用した復興事業の推進や復興事業費の節減が期待されます。